

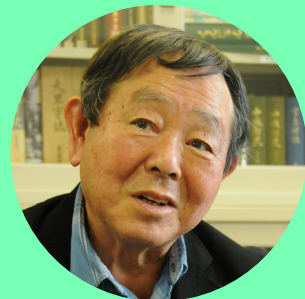
2022 慰霊月間

策動される戦争に抗して 2週連続講演会

第1週

「軍靴高鳴る時代の中で 沖縄戦の教訓を考える」

6月19日(日) 午後1時～4時
教育福祉会館（那覇市古島、興南高校隣） 入場無料
(先着100人)



石原昌家
(沖縄国際大学名誉教授)

司会・三上智恵（映画監督・ジャーナリスト、「ノーモア沖縄戦の会」設立発起人）

講話

「終わらない沖縄の戦後一女・子どもの視点から」

宮城晴美（沖縄女性史家）

「対馬丸の遭難 私の生きる意味」

平良啓子（戦時遭難疎開船対馬丸生還者）

「抗う言葉を求めて」

大城貞俊（作家）

「新たな戦没者を出さないために」

具志堅隆松（沖縄戦没者遺骨収集ボランティア）

※石原氏、宮城氏、具志堅氏は「ノーモア沖縄戦の会」共同代表。
平良氏、大城氏は同設立発起人。

基調講演

「沖縄の日本軍とは何だったのか
—ウクライナ戦争を通して—」

石原昌家（いしはら まさいえ）

1941年、台湾生まれの那覇市首里出身。大阪市大大学院をへて、沖縄国際大学名誉教授。近著『国家に捏造される沖縄戦体験—準軍属扱いされた0歳児・靖国神社へ合祀』（2022年、インパクト出版会）、共著『沖縄「平和の礎」はいかにして創られたか』（2022年、高文研）。「沈黙に向き合う—沖縄戦聞き取り47年」琉球新報で連載中（現在105回目）。

第2週

「南西諸島有事を 勃発させないために」

6月26日(日) 午後1時～3時半
教育福祉会館（那覇市古島、興南高校隣） 入場無料
(先着100人)



岡田充
(共同通信客員論説委員)

司会・新垣邦雄（「ノーモア沖縄戦の会」設立発起人）

パネルディスカッション

岡田充（講師）

山城博治（「ノーモア沖縄戦の会」共同代表）

与那覇恵子（「ノーモア沖縄戦の会」設立発起人）

谷山博史（日本国際ボランティアセンター顧問）

【YouTube動画で後日放映】

第1週、第2週の講演会、討議のもようを収録し編集して後日、YouTube動画で放映します。

※講演会についての問い合わせは

090-2716-6686（新垣）

基調講演

「軍事大国化とミサイル要塞化
—「台湾有事」を煽る狙い—」

岡田充（おかだ たかし）

慶応大学法学部卒業後、共同通信社入社。香港、モスクワ、台北各支局長、編集委員、論説委員を経て客員論説委員。主著書に『中国と台湾—対立と共存の両岸関係』（講談社現代新書、2003年）、共著『虚構の新冷戦 日米軍事一体と敵基地攻撃論』（芙蓉書房出版、2020年）。「21世紀中国総研」で「海峡兩岸論」を連載、BUSINESSINSIDER、東洋経済ONLINEに寄稿。東アジアの外交・安保問題に論陣を張っている。

お問合せ先：「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」事務所

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎2丁目105-18

メール info@nomore-okinawasen.org

ホームページ <http://nomore-okinawasen.org/>

カンパ口座情報は裏面へ→

★賛同人・呼びかけ人募集中！

「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」は、台湾、尖閣をめぐる米、日、台湾、中国の軍事緊張の高まりを危惧し、米国大統領、日本政府首相、台湾総統、中国国家主席の4首脳に「武力ではない平和外交による問題解決」を訴える手紙を送付します。

バイデン米大統領あての手紙を公開します。

バイデン米大統領へ

昨年12月24日の沖縄の新聞報道で、私達の島々が再び戦争の危機に直面していることを知りました。記者の取材を受けた日米政府関係者が、「台湾有事」の際に南西諸島（主に沖縄県）が中国に対する攻撃拠点となると証言したのです。

何故、台湾有事で沖縄が戦争に巻き込まれなければならないのでしょうか。台湾・中国間の紛争が暴力を伴うものになった場合、日米政府が介入し、沖縄から中国を攻撃するというのです。しかし、攻撃拠点となれば、沖縄は中国の反撃対象となり、県民が暮らす生活の場がミサイル攻撃の標的となります。国家間の覇権争いによって、罪なき人々、老いも若きも、男も女も、子供達や赤ん坊も皆、無慈悲に殺害されていくのです。

沖縄本島はアジア・太平洋戦争において、日本で唯一住民を巻き込んだ地上戦の場となり、地獄と呼ばれた沖縄戦で全てが破壊され、県民の4人に1人が命を奪われました。その辛い体験から、絶対に二度と戦争を起こしてはならないという強い思いがあります。しかし、その思いとは裏腹に戦後は米軍占領下に置かれ、強制的に土地を接収され、基地の島となってしまいました。私達は戦争のために存在する基地に反対し、基地なき平和な島を求めてきましたが、平和憲法下の日本に復帰した後もその願いは叶わず、日本の米軍専用施設の70%が沖縄に押し付けられている現状に苦しんでいます。

沖縄には、「ヌチドゥタカラ」（「生命は宝」）という言葉があり、その精神は、平和を希求する強い思いとともに、米国、英国、朝鮮、台湾、日本、沖縄と、沖縄戦で犠牲となったすべての人々の名前を刻銘する「平和の礎」にも示されています。命を尊ぶ平和への思いは、台湾、中国、米国、日本の人々も同じだと思います。台湾紛争は、世界規模の戦争被害を正当化できるものでは決してなく、問題解決は武力ではなく平和外交で行われるべきです。民主主義を標榜するリーダーとして、率先して中国と平和裏な問題解決を模索し交渉していくようお願いいたします。

いまだ77年前の沖縄戦の深い傷から立ち直るための努力を続けている沖縄を、再び戦争の犠牲にすることはどうかやめて下さい。146万人県民が生活している島々を戦場にしないでください。沖縄は中国、台湾どちらの支持も致しません。紛争に何の関係も無い沖縄が戦場となり県民が犠牲となることは、戦争犯罪に相当する行為です。沖縄は日米両政府が想定する対中戦争の前線基地となって犠牲となることを、断固として拒否します！！

ノーモア沖縄戦 命どう宝の会

カンパご支援
お願いします！

<ゆうちょ銀行>

支店名：七〇八支店 店番号：708 種別：普通 口座番号：0174209
口座名義：アラカキヒトミ

【ゆうちょ銀行から振込される場合】

記号 17040 番号 01742091 名義 アラカキヒトミ

<沖縄銀行>

支店名：美里支店 店番号：311 種別：普通 口座番号：2177361
口座名義：ノーモア沖縄戦命どう宝の会（ノーモアオキナワセンヌチドゥタカラノカイ）

<琉球銀行>

支店名：コザ十字路支店 店番号：504 種別：普通 口座番号：1132657
口座名義：ノーモア沖縄戦命どう宝の会（ノーモアオキナワセンヌチドゥタカラノカイ）

ノーモア沖縄戦
命どう宝の会
口座情報